



鶴翔 同窓会だより

荘内中学校 鶴岡中学校
鶴岡第一高等学校 鶴岡高等学校
鶴岡南高等学校

第 64 号

発行 鶴翔同窓会
〒997-0037 山形県鶴岡市若葉町26-31
山形県立鶴岡南高等学校内
電話(0235)22-0061
印刷 鶴岡印刷株式会社
2023年
令和5年7月1日発行



“鶴岡の早慶戦”最後の鶴南・鶴工定期戦

令和5年6月8日



鶴翔同窓会閉会記念号への寄稿大募集!

— 皆さんの鶴南への一文で 閉会記念号を盛り上げましょう! —

1. 原稿内容

母校の思い出や近況等を
200字以内でお寄せください。

2. お寄せいただくもの

- (1) 寄稿文(200字以内)
- (2) 写真(写真掲載可能な方)
※写真は返却できませんのでご了承ください。
貴重な写真は複写等してお送りください。

3. 締切り

令和5年8月25日(金)必着

4. 送付方法

- (1) 同封の原稿用紙を使用し、返信用封筒にて郵送
 - (2) 専用の原稿送信フォーム
- (1)か(2)、いずれかの方法でお送りください。

5. お問い合わせ

鶴翔同窓会事務局
TEL (0235)-22-0061

6. その他

事務局にて修正、加筆を行うこともありますので、
ご了承ください。



(2) 原稿送信フォームは
こちらから
☞



同窓会会長挨拶

第七代会長 齋藤正志 (昭44卒・76回)

鶴翔同窓会会員の皆様、お元気で過ごしのことと思います。皆様におかれましては、日頃より鶴翔同窓会並びに鶴岡南高校に対してご支援を賜り感謝申し上げます。

我が母校は皆様ご承知の通り、令和6年4月から中高一貫校致道館高校へ移行することになりますので、新たな旅立ちと思い、気持ちを新たにしていかなければなりません。

このコロナ禍の中、新校への移行の準備は順調に進められ、来春には予定通り開校を迎えます。

同窓会に関しては、南高校鶴翔同窓会と北高校如松同窓会は統合し新同窓会をスタートさせて行く予定でありますが、今後も皆様のご理解とご協力をお願いして参りたいと思います。

7月5日には南高校最後となる創立135周年の創立式典を挙行し、従来通り式典並びに役者渡部智氏(昭58卒・90回)の記念講演や祝賀会を行います。

11月には、南高校の閉校式が前倒しで予定されていますし、令和6年2月には鶴翔同窓会の閉会式を挙行する予定です。こちらが最後になりますので、盛大に開催したいと思います。

同じく2月に鶴翔同窓会閉会記念号の発行を予定しています。同窓生の皆

様からお寄せいただいた、鶴南への200字の思い出文を掲載します。ご寄稿をお願い致します。

鶴岡南高校としての流れは途絶える事になりますが、新校に移行しても南高135年の歴史と伝統は形を変えても脈々と引き継がれて行つて欲しいと思うところです。鶴岡南高校としての135年は永遠に不滅と思いつつ誇りを持って新校に流れを託して参りたいと思います。

最後に、鶴翔同窓会の会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り致しまして会長挨拶とさせていただきます。



新校への移行準備が進められています。



校長挨拶

第三十六代校長 遠田達浩

同窓会の皆様、日頃より鶴岡南高等学校の教育活動に御理解をいただき、また多大な御支援を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

ここ3年余りは新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきましたが、現在は年間行事予定通りに教育活動を実施することができております。

今年3月の卒業生の進路状況は、現役で京大1名、東北大や北海道大学等の難関大学に15名が合格し、そのうち東北大医学部医学科に1名となっております。山形大12名、新潟大に18名、国公立大学には合わせて109名が合格となり、大いに頑張ってくれました。

部活動では、昨年度の主な結果としては、アーチェリー男女それぞれ団体(女子は鶴岡北との合同チーム)と水泳男女個人及び男子リレー、卓球女子シングルス(県大会1位、2位)がインターハイに出場し、文化部は科学部が全国高等学校総合文化祭に出場、吹奏楽研究会と音楽部が東北大会に出場するなど、相変わらず各部とも大いに活躍してくれました。今年度も同様の活躍を各部とも見せてくれるものと大いに期待しているところです。

SSHについては、第Ⅲ期申請を昨年度再度行い、無事採択され今年度から5年間の指定を受けることができました。昨年度はSSH経過措置校とな

り、国からの予算が大幅減額されたところを同窓会や本校後援会の皆様から御支援いただき、「鶴南ゼミ」をはじめとする活動を実施できましたこと、改めて感謝申し上げます。

令和6年度開校の中高一貫校に関しては、校名が昨年10月に「県立致道館中学校・高等学校」と公表され、6月の県議会において、県立学校設置条例が改正され正式決定となります。校舎改修が昨年度から始まり、今年度中の完成に向けて工事が進んでいます。校章については、6月に公表予定ですが、この同窓会だよりが発行された頃には明らかになっているものと思っております。また、校歌は12月の公表を目指し検討を進めているところです。

今年度は何といたっても鶴岡南高等学校としての最後の一年でありますので、歴史と伝統ある南工定期戦や南高祭(文化祭)などの行事では、生徒・教職員をはじめ保護者や同窓会の皆様からの御協力・御支援をいただきながら、記憶に残るものにしていきたいと思っております。

この一年、教職員一同頑張つてまいりますので、同窓生の皆様の益々の御支援を重ねてお願い申し上げますとともに、鶴翔同窓会の益々の御発展と皆様の御活躍を祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

鶴岡南高等学校から致道館高等学校へ

令和5年度 最後の1年間3大イベント

令和5年11月29日(水)
鶴岡南高等学校
閉校式
(荘銀タクト)

学校行事として行います。
同窓会員の参加はありません。

令和6年2月11日(日)
鶴翔同窓会
閉会式
(グランドエル・サン)

同窓会員の多数の参加をお待ちしています。
詳細は後日、新聞・ホームページ等で
お知らせします。

令和6年2月
鶴翔同窓会
閉会記念号 発行

同窓会員の多数の寄稿を
お待ちしております。

支部だより

東京鶴翔同窓会

開催日 2022年11月12日(土) 会場 ART HOTEL日暮里ラングウッド 出席者 215名

鶴翔同窓会副会長滝川義朗様にご出席いただきました。

実行委員は83回生を中心に、93回・73回の3世代で構成。「はやくあいでの～！んだの～！」を総会テーマに3年ぶりに開催しました。



支部だより

山形鶴翔同窓会

開催日 令和4年11月17日(木)
会場 山形グランドホテル 出席者 25名

3年ぶりの開催となり、昭和51年卒の実行委員が会を運営。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、例年の3割ほどの出席となったものの、感染防止対策を講じながらの久しぶりの懇談で大いに盛り上がり、世代間の交流が図られた会となりました。



支部だより

関西鶴翔同窓会

開催日 令和5年5月28日(日)
会場 京都妙心寺 花園会館 出席者 22名

本部会長齋藤正志様・校長遠田達浩様のご出席をいただき4年ぶりの開催となりました。

亡くなられた4名の会員の方への黙とうをささげ、総会・懇親会が行われました。

元応援団の小野寺さんの発声のもと校歌と鳳嶺月峯を大きな声で合唱し盛り上がりました。

終了後、妙心寺・退蔵院で日本最古の水墨画「瓢鮎図」や枯山水の石庭、また法堂にある探幽作「雲竜図」や国宝の698年作「梵鐘」などを見学し、帰路につきました。



母校だより

令和5年度 教職員の異動

【転出】

西山 雄一 (国語・酒田光陵高校)

長谷部 満 (理科・酒田西高校)

吉泉 亜美

中里 征晴 (数学・常勤講師・鶴岡北高校)

小柴 征晴

小柴 佳奈 (保健体育・非常勤講師・退職)

富樫 順子 (実習講師・鶴岡北高校)

齋藤 優子 (主事・退職)

【転入】 (PTA書記・退職)

大瀧 哲

(事務部長・村山総合支庁)

梅津 直志

(教頭・数学・鶴岡北高校)

佐久間俊志

田中 勉 (国語・酒田東高校)

浅野 悟 (数学・庄内総合高校)

若嶋 孝 (理科・鶴岡中央高校)

(保健体育・常勤講師・藤島中学校)

佐々木 卓

(数学・常勤講師・鶴岡第二中学校)

上林 伊理(事務次長・鶴岡工業高校)

五十嵐華子 (主事・新庄病院)

伊藤 幸子 (PTA書記)

澤田 京子 (校務補助員)

中里 征晴 (SSH事業事務員)

進路状況

【令和4年度の卒業生 182名】

【令和4年度進路状況】

①京大 1名合格

②医学部医学科 1名合格

③東北大 7名合格

④国公立大 109名合格

《共通テスト》

生徒180名が、共通テストに出願した。5教科900点型で本校平均点は564・9点であった。今春の卒業生も共通テストの全国平均点を11点ほど上回り、県内高校別で2位の好成績であった。



仮設校舎が建つ校舎全景 (令和4年)
撮影/三原一郎(昭43卒・75回)

《合格状況》

国公立大には109名が合格した。在籍数に対しての合格率は59・9%であった。コロナ禍の中での高校生活であったが、努力を重ね、難関大学へも果敢に挑戦した。現役生の難関大学合格状況は、京大1名、東京外国語大2名、東北大7名、北海道大3名、筑波大2名、千葉大2名、東京農工大1名、横浜国立大1名、医学部医学科1名などであった。過年度生も、国公立大では一橋大1名、東京外国語大、神戸大各1名、新潟医学部医学科1名合格。私立大では、慶應義塾大、上智

大、青山学院大、明治大、立教大などに合格。自分の目標に向かって努力し、見事に結果を出した。
国公立大合格者数の多い大学としては、新潟大18名、山形大12名、東京学芸大6名、埼玉大5名、秋田大4名、弘前大4名と近隣と関東圏の大学に多く進学する傾向が継続している。私立大の合格者数はのべ228名であった。早稲田大2名、慶應義塾大1名、上智大1名、東京理科大2名、明治大5名、立教大6名、立命館大2名、同志社大1名など、難関私立大に数多く合格した。
(進路指導課長 真嶋 亮子)

主な大学合格者数 (現役のみ・延べ人数)

北海道	3
弘前	4
東北	7
宮城	2
秋田	4
山形	12
茨城	1
筑波	2
宇都宮	2
埼玉	5
東京外大	2
東京学芸	6
東京農工大	1
横浜国立大	1
千葉	2
新潟	18
富山	2
金沢	2
京都	1
信州	1
広島	1
岩手県立	4
その他	26
国公立大学計	109

早稲田	2
慶應義塾	1
上智	1
東京理科	2
立教	6
明治	5
法政	3
立命館	2
東北学院	22
その他	184
私立大学計	228

進路状況

卒業生数	182	
進学内訳	国公立大学	109
	私立大学	49
	短期大学	0
	各種学校等	4
進学者計	162	
就職者数	0	
進学準備等	20	

在校生の活躍

第63号掲載以降の大会結果等

◆陸上競技部

令和5年度 山形県高等学校総合体育大会

女子4×100mR 第3位 *東北大会出場

(渡部桃子、佐藤花夏、和田 雫、成田 栞)

女子400mH 第3位 成田 栞 *東北大会出場

*なお、成田さんは400mと100mHでも第6位となり

東北大会へ出場

◆水泳部

東北新人戦(10/28~29) 秋田県立総合プール

男子50m自由形 2年 佐藤 隆晴 第4位

男子50m自由形 2年 進藤悠太郎 第11位

女子50m自由形 2年 疋田きらり 第3位

女子50m自由形 1年 佐藤 夢那 第16位

男子100m自由形 2年 進藤悠太郎 第17位

男子100m自由形 2年 佐藤 隆晴 第5位

女子100m自由形 2年 疋田きらり 第7位

男子200m自由形 1年 小林 竜士 第2位

女子200m自由形 1年 酒井 亜友 第20位

男子400m自由形 1年 小林 竜士 第4位

女子100m平泳ぎ 2年 佐藤 百恵 第2位

女子100m平泳ぎ 2年 漆山 怜亜 第15位

女子200m平泳ぎ 2年 佐藤 百恵 第6位

男子200m個人メドレー 2年 漆山 怜亜 第22位

男子400m個人メドレー 2年 五十嵐優人 第16位

女子100mバタフライ 1年 丸山 楓夏 第14位

女子200mバタフライ 1年 丸山 楓夏 第14位

男子400mメドレーリレー 第10位

(五十嵐優人、小林竜士、三井昊、進藤悠太郎)

女子400mメドレーリレー 第7位

(酒井亜友、佐藤百恵、丸山楓夏、疋田きらり)

男子400mリレー 第2位

(小林竜士、五十嵐優人、佐藤隆晴、進藤悠太郎)

女子400mリレー

(疋田きらり、佐藤夢那、酒井亜友、五十嵐妃奈)

男子総合 第4位

◆卓球部

10月15日、16日 2022年山形県卓球選手権大会

(一般の部)兼2023年全日本卓球選手権大会

(一般の部) 山形県予選会

(山形県総合運動公園総合体育館メインアリーナ)

女子シングルス 武藤 菜要 第2位

女子ダブルス 渡部実優 武藤菜要 ペア 第1位

(全日本選手権出場権獲得)

全日本選手権(1月) 武藤 菜要 2回戦敗退

女子シングルス 武藤 菜要 2回戦敗退

女子ダブルス 渡部実優 武藤菜要 ペア 1回戦敗退

令和5年度 山形県高等学校総合体育大会

女子団体 第2位

(渡部実優、武藤菜要、齋藤倅娑、五十嵐七菜、阿部あすか、工藤結愛、菅原真音)

女子ダブルス 渡部実優 武藤菜要 ペア 第2位

*インターハイ、東北大会出場

女子シングルス ベスト8 武藤 菜要

ベスト16 渡部実優、齋藤倅娑

*東北大会出場

県選抜チームとして、

上野太土・高橋孝太朗・澤井悠月が

出場

東北総体弓道競技(8/21~22) 弘前市

弓道部

東北高等学校アーチエリート選抜大会

(栗石町営体育館 11月11日~13日)

男子団体 第3位

(長谷川泰正、松下颯聖、小角 知、長南剛志)

男子個人

第9位 松下 颯聖

第17位 小角 知

第17位 長谷川泰正

女子団体 第5位 鶴岡南・鶴岡北合同

(富樫英花、佐藤来海、菅野由貴)

予選敗退 富樫英花、佐藤来海

令和5年度 山形県高等学校総合体育大会

男子個人 優勝

(長谷川泰正、松下颯聖、小角 智、長南剛志)

男子個人 第1位 長谷川泰正

第3位 松下 颯聖

*団体・個人ともインターハイ、東北大会出場

女子団体 優勝 鶴岡南・鶴岡北合同

(富樫英花、佐藤来海、小角 和)

女子個人 第1位 富樫 英花

第3位 佐藤 来海

*団体・個人ともインターハイ、東北大会出場

ウエイトリフティング 第2位 三井 敏史 *東北大会出場

男子81kg級

山形県アンサンブルコンテスト

(1/15 酒田市民会館「希望ホール」)

クラリネット五重奏 銀 賞

打楽器五重奏 金 賞

JRC 「公益財団法人山新放送愛の事業団『愛の鳩賞』」

(2022年12月8日)

報道部 第46回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文」

総合開会式山形県代表

3年 功刀 萌恵

3年 山田 萌未

やまがたA1部

令和5年3月下旬 A1甲子園本選

全国高等学校小倉百人一首かるた選手権山形県大会

第6位 茂木 咲良

*県代表として、全国総合文化祭 鹿児島県大会

百人一首かるた部門に出場

叙勲・表彰

『誠におめでとうございます』

(敬称略「同窓会だより」第63号以降)
令和5年5月31日現在

工藤 耕三	昭28卒・60回	令和4年11月	瑞宝双光章(教育功労)
山岸 文章	旧職員	令和4年11月	山形県教育功労者表彰(体育・スポーツ)
中野 洋	昭54卒・86回	令和4年11月	山形県教育功労者表彰(学校教育)
坂尾 聡	昭55卒・87回	令和4年11月	山形県教育功労者表彰(学校教育)
土田 兼史	昭45卒・77回	令和4年秋	旭日双光章(保健衛生功労)
佐藤 幸夫	昭39卒・71回	令和4年秋	瑞宝小綬章(教育功労)
今井 浩	昭45卒・77回	令和4年秋	瑞宝小綬章(国土交通行政事務功労)
海藤 誠一	昭28卒・60回	令和4年3月	瑞宝双光章(教育功労)
榎本 政規	昭43卒・75回	令和5年春	旭日小綬章(地方自治功労)
半澤 仁	昭41卒・73回	令和5年春	瑞宝双光章(郵政事業功労)

訃報

『謹んで哀悼の意を表します』

(敬称略「同窓会だより」第63号以降)
令和5年5月31日現在

松田 二郎	旧職員昭32.4～昭50.3 昭52.4～昭53.3	原田(佐藤)郁	昭28卒・60回	小野寺 勇	昭36卒・定32回
榎 清彦	旧職員昭43.4～昭47.3	坂原 昇	昭28卒・60回	船戸 猛夫	昭36卒・定32回
石垣 正夫	旧職員昭57.4～昭60.3	後藤(鈴木)智子	昭28卒・60回	今野 光貞	昭36卒・定32回
矢萩 正芳	旧職員平14.4～平24.3	大江(大滝)弘子	昭28卒・60回	庄司 三喜雄	昭37卒・69回
吉住 光弥	昭16卒・49回	小北 浩一	昭28卒・商2回	佐藤(五十嵐)敏子	昭37卒・定33回
瀬尾 金八	昭16卒・49回	相馬(久保)喜久	昭28卒・定23回	斎藤 寿一	昭38卒・70回
井上 啓一	昭16卒・49回	足達 和子	昭29卒・61回	石川 正巳	昭38卒・70回
斎藤 弘義	昭17卒・50回	佐々木 壽子	昭29卒・61回	本間 和広	昭38卒・70回
山内 慶一	昭18卒・51回	岡田(兼子)キヨ	昭29卒・61回	羽田 勇一	昭38卒・定34回
瀬尾 恒二	昭18卒・51回	八向 真	昭29卒・61回	井上 幸明	昭39卒・71回
酒井 直巳	昭18卒・51回	岡本(上野)美至子	昭29卒・定25回	江口(福田)百合子	昭39卒・71回
丸山 勝義	昭20④卒・53回	飯塚 進	昭30卒・62回	吉川 俊幸	昭39卒・71回
斉藤 孝一	昭20卒・定15回	佐藤 武知郎	昭30卒・62回	本間 敏雄	昭40卒・72回
墨井 松生	昭21卒・54回	磯野 国夫	昭30卒・62回	富樫 重治	昭40卒・72回
宮田 任三	昭21卒・54回	佐藤 和久	昭30卒・62回	成田 智子	昭41卒・73回
星川 隆正	昭21卒・定16回	斉藤 慶助	昭30卒・62回	新宮 彰	昭41卒・73回
安達 要之輔	昭23卒・55回	若林 庸夫	昭30卒・62回	秋保 親和	昭41卒・73回
佐藤 芳昭	昭24卒・56回	若公 佳生	昭30卒・62回	伊藤 好喜	昭42卒・74回
森 淑郎	昭24卒・56回	武田 友樹	昭30卒・商4回	小松(安在)由紀子	昭42卒・商16回
菅原 純一	昭26卒・58回	小野寺 多一	昭30卒・定26回	草島 豊	昭42卒・商16回
笹原 信一郎	昭26卒・58回	三井 清文	昭31卒・63回	佐藤 信夫	昭43卒・75回
佐竹 規成	昭26卒・58回	宇佐美 勝夫	昭31卒・63回	佐藤 実	昭43卒・75回
山本 庸夫	昭26卒・58回	園部 金三	昭31卒・定27回	長南 真	昭43卒・定39回
秋葉(太田)はる子	昭27卒・59回	小花 吉彦	昭32卒・64回	田中(若生)久子	昭44卒・76回
坂口(佐藤)和子	昭27卒・59回	渡部 慎一	昭32卒・64回	佐藤 博	昭44卒・76回
大川(加藤)安子	昭27卒・59回	墨井 富士男	昭33卒・65回	難波 信昭	昭44卒・76回
田口 善次郎	昭27卒・59回	斎藤 裕	昭33卒・65回	伊藤 豊	昭45卒・77回
島田 四郎	昭27卒・59回	工藤 信夫	昭33卒・定29回	小松 秀	昭46卒・78回
土田(鮎)三枝子	昭27卒・59回	佐藤 正雄	昭34卒・66回	佐藤(長谷川)恵美子	昭47卒・79回
吉原(富樫)照子	昭27卒・59回	池田(赤谷)宏	昭34卒・66回	後藤 越司	昭47卒・79回
武山 源三	昭27卒・59回	伊藤 健司	昭34卒・66回	荒田 透	昭47卒・79回
小坂(山田)秋	昭27卒・59回	佐藤 紘司	昭34卒・66回	榎本 毅	昭51卒・83回
金内(木村)秀士	昭27卒・59回	佐藤 克巳	昭34卒・66回	青山 猛	昭51卒・83回
阿達(庄司)芳	昭27卒・59回	菅原 幸吉	昭34卒・66回	斉藤 良也	昭51卒・83回
丸山(関)京子	昭27卒・59回	坂元 昭六	昭34卒・商8回	渡辺(今野)クミ	昭55卒・87回
佐藤 金一	昭27卒・定22回	五十嵐 卯義治	昭34卒・定30回	志賀(秋場)宣子	昭56卒・88回
石井 哲	昭28卒・60回	宮川 鵬史	昭35卒・67回	今野 陽介	平7卒・102回
五十嵐(伊藤)洋子	昭28卒・60回	上野 一郎	昭35卒・67回	遠藤 楓	平23卒・118回
小松 健二	昭28卒・60回	田中 満彦	昭35卒・商9回		
		笹山 一夫	昭36卒・68回		

(117人)

令和4年度 鶴翔同窓会 事業報告

令和4年度入学式	4/8 入学者：200名（鶴岡南高校体育館）
理事会	5/10 書面会議（在宅）
役員会	第1回（4/28 学校会議室）・第2回（11/7 学校仮校舎会議室）・第3回（3/20 学校仮校舎会議室）
臨時総会	5/16～5/27 ホームページ掲載（7/1の通常総会を中止）
会員名簿発行	6月上旬 1,664冊
創立134周年記念行事(6月29日) ※祝賀会は中止	13:00～ 創立記念式典、歴代校歌紹介、記念舞踊（荘銀タクト鶴岡） 14:00～15:30 記念講演 講師：京都大学人文科学研究所教授 石川禎浩氏（昭57卒・89回） 演題：中国と向き合う - 『中国共産党、その百年』余話
同窓会だより	11/10 第63号発行 16,233部発送
令和4年度卒業式	R5.3/1 卒業生：182名（鶴岡南高校体育館）

令和4年度 鶴翔同窓会一般会計 決算

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：円

収入の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 会費	費	4,875,000	4,614,500	▲ 260,500	
	① 入会金	975,000	910,000	▲ 65,000	@5,000円×182名
	② 維持会費	3,900,000	3,704,500	▲ 195,500	@3,009円×1,231件（ゆうちょ477, コンビニ651, クレジット103）
2 寄付金	金	1,300,000	1,130,100	▲ 169,900	222件
3 広告料		0	0	0	
4 繰入金	金	0	0	0	
5 繰越金		3,007,879	3,007,879	0	前年度からの繰越金
6 雑収入		117,121	179,825	▲ 62,704	エアコンPTA使用料179,806円、預金利息
合計		9,300,000	8,932,304	▲ 367,696	

支出の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 運営費	費	1,630,000	1,841,041	▲ 211,041	
	① 会議費	10,000	0	▲ 10,000	事務局会議、役員会、理事会、総会
	② 需用費	140,000	88,880	▲ 51,120	はがき、切手、事務用品、インターネット接続他
	③ 負担金	730,000	730,000	0	PTA書記給与負担金
	④ 旅費	10,000	21,940	▲ 11,940	支部総会出席者旅費等
	⑤ 支払手数料	310,000	276,665	▲ 33,335	維持会費・寄付金振替手数料
	⑥ 鶴翔会館費	130,000	196,437	▲ 66,437	ガス支払料、R7予定のメンテナンス
	⑦ 雑業費	300,000	527,119	▲ 227,119	事務局員活動費、慶弔費、諸雑費
2 事業費	費	4,333,000	3,679,015	▲ 653,985	
	① 同窓会報費	2,900,000	2,932,487	▲ 32,487	印刷費・封筒・発送費等
	② 創立記念費	400,000	423,928	▲ 23,928	タクトで学校関係者対象の式典と講演（祝賀会は中止）
	③ ホームページ運営事業費	183,000	182,600	▲ 400	ホームページ運営費
	④ 支部総会補助費	30,000	20,000	▲ 10,000	東京鶴翔、羽黒支部
	⑤ 卒業記念品	170,000	120,000	▲ 50,000	卒業証書ファイル（150冊）
	⑥ 事業積立金会計繰出金	650,000	0	▲ 650,000	
	⑦ 学校支援特別会計繰出金	0	0	0	
3 予備費	費	3,337,000	0	▲ 3,337,000	
合計		9,300,000	5,520,056	▲ 3,779,944	

[収入] 8,932,304円 - [支出] 5,520,056円 = 3,412,248円（次年度への繰越）

令和4年度 事業積立金会計 決算

収入の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 一般会計繰入金	金	650,000	0	▲ 650,000	
2 手数料		1,400,000	1,561,500	▲ 161,500	「会員名簿」発刊時の還元金
3 繰越金	金	8,753,607	8,753,607	0	前年度からの繰越金
4 雑収入		93	72	▲ 21	預金利子
合計		10,803,700	10,315,179	▲ 488,521	

支出の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 一般会計繰出金	金	0	0	0	一般会計へ
2 創立記念事業費		0	0	0	
3 予備費		10,803,700	0	▲ 10,803,700	
合計		10,803,700	0	▲ 10,803,700	

[収入] 10,315,179円 - [支出] 0円 = 10,315,179円（次年度への繰越）

令和4年度 学校支援特別会計 決算

収入の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 一般会計繰入金	金	0	0	0	一般会計より
2 寄託金		200,000	160,317	▲ 39,683	全日卒業生、同期会等から
3 繰越金	金	6,513,947	6,513,947	0	前年度からの繰越金
4 雑収入		53	55	▲ 2	預金利子等
合計		6,714,000	6,674,319	▲ 39,681	

支出の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 激励活動費		200,000	110,142	▲ 89,858	新会員の受験対策支援（仙台・東京・京都方面）
2 整備活動費		300,000	0	▲ 300,000	設備・物品等ハード面の整備
3 在校生活動奨励費		1,800,000	941,657	▲ 858,343	在校生の支援、活躍した部・個人への助成・祝金
4 予備費		4,414,000	0	▲ 4,414,000	
合計		6,714,000	1,051,799	▲ 5,662,201	

[収入] 6,674,319円 - [支出] 1,051,799円 = 5,622,520円（次年度への繰越）

令和5年度 鶴翔同窓会一般会計 予算

令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：円

収入の部		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 会	費	4,875,000	4,550,000	▲ 325,000	
	① 入 会 金	975,000	950,000	▲ 25,000	@5,000円×190名
	② 維 持 会 費	3,900,000	3,600,000	▲ 300,000	@3,000円×1,200件
2 寄	付 金	1,300,000	1,100,000	▲ 200,000	210件
3 広	告 料	0	0	0	同窓会だより：0件
4 繰	入 金	0	0	0	
5 繰	越 金	3,007,879	3,412,248	404,369	前年度からの繰越金
6 雑	収 入	117,121	117,752	631	エアコン PTA 使用料、会員名簿売却代 他
合 計		9,300,000	9,180,000	▲ 120,000	

支出の部		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 運	営 費	1,630,000	2,230,000	600,000	
	① 会 議 費	10,000	10,000	0	事務局会議、役員会、理事会、総会
	② 需 用 費	140,000	140,000	0	はがき、切手、事務用品、インターネット接続 他
	③ 負 担 金	730,000	740,000	10,000	PTA 書記給与負担金
	④ 旅 費	10,000	400,000	390,000	支部総会出席者旅費等
	⑤ 支 払 手 数 料	310,000	310,000	0	維持会費・寄付金振替手数料
	⑥ 鶴 翔 会 館 エ ア コ ン 費	130,000	130,000	0	ガス支払料金、R7 予定のメンテナンス
	⑦ 雑 費	300,000	500,000	200,000	事務局員活動費、諸雑費
2 事	業 費	4,333,000	4,083,000	▲ 250,000	
	① 同 窓 会 報 告 刊 行 費	2,900,000	2,950,000	50,000	64号 印刷費・封筒・発送費等
	② 創 立 記 念 費	400,000	600,000	200,000	案内印刷、看板、講演料、実行委員会費、祝賀会諸費用
	③ ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	183,000	183,000	0	ホームページ運営費
	④ 支 部 総 会 支 助 費	30,000	180,000	150,000	
	⑤ 卒 業 記 念 品	170,000	170,000	0	卒業証書ファイル（200冊）
	⑥ 事 業 積 立 金 会 計 繰 出 金	650,000	0	▲ 650,000	
	⑦ 学 校 支 援 特 別 会 計 繰 出 金	0	0	0	
3 予	備 費	3,337,000	2,867,000	▲ 470,000	次年度繰越予定額
合 計		9,300,000	9,180,000	▲ 120,000	

令和5年度 事業積立金会計 予算

収入の部		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 一 般 会 計 繰 入 金		650,000	0	▲ 650,000	
2 手 数 料		1,400,000	0	▲ 1,400,000	「会員名簿」発刊時の還元金
3 繰 越 金		8,753,607	10,315,179	1,561,572	前年度からの繰越金
4 雑 収 入		93	121	28	預金利子
合 計		10,803,700	10,315,300	▲ 488,400	

支出の部		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 一 般 会 計 繰 出 金		0	0	0	一般会計へ
2 創 立 記 念 事 業 費		0	5,500,000	5,500,000	閉校式500,000、閉会式1,000,000、閉校記念誌4,000,000
3 予 備 費		10,803,700	4,815,300	▲ 5,988,400	次年度繰越予定額
合 計		10,803,700	10,315,300	▲ 488,400	

令和5年度 学校支援特別会計 予算

収入の部		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 一 般 会 計 繰 入 金		0	0	0	一般会計より
2 寄 託 金		200,000	200,000	0	全日卒業生、同期会等から
3 繰 越 金		6,513,947	5,622,520	▲ 891,427	前年度からの繰越金
4 雑 収 入		53	80	27	預金利子等
合 計		6,714,000	5,822,600	▲ 891,400	

支出の部		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 激 励 活 動 費		200,000	150,000	▲ 50,000	新会員の受験対策支援（仙台・東京・京都方面）
2 整 備 活 動 費		300,000	100,000	▲ 200,000	設備・物品等ハード面の整備
3 在 校 生 活 動 奨 励 費		1,800,000	300,000	▲ 1,500,000	在校生の支援、活躍した部・個人への助成・祝金
4 予 備 費		4,414,000	5,272,600	858,600	次年度繰越予定額
合 計		6,714,000	5,822,600	▲ 891,400	

令和5年度 鶴翔同窓会 役員・事務局体制

役員	・ 顧 問	石黒 慶一 (昭35卒・67回)			
	・ 会 長	齋藤 正志 (昭44卒・76回)			
	・ 副 会 長	國井 英夫 (昭44卒・76回)	田中 芳昭 (昭46卒・78回)	黒澤 久子 (昭46卒・78回)	
		滝川 義朗 (昭51卒・83回)	渡會 俊仁 (昭57卒・89回)	遠田 達浩 (校長)	
	・ 会 計 監 事	堀 真一 (昭53卒・85回)	金井 昌弥 (昭59卒・91回)	菅原 一浩 (昭60卒・92回)	
事務局	・ 事 務 局 長	佐藤 守 (昭51卒・83回)			
	・ 事 務 局 員	高樹 陽子 (昭45卒・77回)	石塚 俊朗 (昭45卒・77回)	須田 まき (昭49卒・81回)	
		菅原 ゆり (昭51卒・83回)	北風 秀明 (平2卒・97回)	佐藤 英成 (平5卒・100回)	
		本間 康弘 (平9卒・104回)			
	・ 学 校 側	大瀧 哲 嗣 (事務部長・昭63卒・95回)		田村 裕 (教頭・昭60卒・92回)	
		梅津 直志 嗣 (教頭・平2卒・97回)		佐藤 義徳 (総務課長)	
	・ 事 務 補 助 員	伊藤 幸子			

寄付者芳名簿

令和4年4月1日～令和5年3月31日
件数222件 合計金額1,130,100円

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和18, 昭和19, etc.)

Table listing names and dates (e.g., 昭和20, 昭和21, etc.)

Table listing names and dates (e.g., 昭和35, 昭和36, etc.)

Table listing names and dates (e.g., 昭和44, 昭和45, etc.)

Table listing names and dates (e.g., 昭和52, 昭和53, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和55, 昭和56, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和58, 昭和59, etc.)

維持会費納入者芳名簿
令和4年4月1日～令和5年3月31日
件数1,231件 合計金額3,704,500円
寄付金・維持会費の区分がなかった方につきましては、3,000円を維持会費に、残りを寄付金として取り扱わせていただきました。
注：全日制において、卒年・回の次に入れた数字は、上から卒業者数・現会員数です。

Table with columns for names and dates (e.g., 平成5, 平成6, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 平成13, 平成14, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和60, 昭和61, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和62, 昭和63, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和64, 昭和65, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和68, 昭和69, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和70, 昭和71, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和72, 昭和73, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和74, 昭和75, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和76, 昭和77, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和78, 昭和79, etc.)

Table with columns for names and dates (e.g., 昭和80, 昭和81, etc.)

ご寄付、維持会費の納入 ありがとうございます。

大戸	齊藤	佐藤	上野	松浦	泉浦	石田	秋保	菅原	江部	三浦	長谷川	赤川	川井	富塚	佐藤	滝川	昭51(八三三)	小野	齊藤	水田	中瀧	大瀧	齋藤	守岡	鈴木	伊藤	大瀧	大瀧	佐藤	渡部	荒木	荒木	我妻	福本	上野	昭50(八二二)	伊藤	水尾	佐藤	野村	中村	高橋	菅原	三原	須藤	佐藤	高梨	村上	阿部	富樫			
伸一	圭一	雅子	樹子	樹子	充也	ゆり	尚夫	信賢	典一	賢一	清一	陸夫	明夫	喜代志	義朗	俊昭	南真知	原南	藤美	間正	菅光	加西	葛西	池田	齋藤	齋藤	新田	佐藤	小岩	中村	菅原	五十	本間	大和	匹田	柴田	佐藤	富田	成田	昭52(八四四)	佐藤	佐藤	中村	佐藤	犬塚	堀田	鈴木						
兼子	阿部	脇山	伊藤	佐藤	太松	小藤	佐藤	大沼	大沼	酒井	石川	小川	大川	昭57(八九九)	石崎	宮崎	土岐	佐藤	五十	谷川	渡辺	鍋島	昭56(八八八)	櫻井	佐藤	佐藤	迎田	中野	坂野	成田	佐藤	齊藤	梅田	佐藤	梅田	佐藤	尾形	小松	芳賀	富田	昭55(八七〇)	横屋	高取	大城	原田	菅原	佐賀	富田	舟山				
慎一郎	哲久	聡拓	洋介	藤弘	松牧	勝司	靖弘	和滋	和弘	井滋	川浩	小達	大達	昭60(二五三)	石達	石達	昭60(二五三)	松正	金井	木村	富村	杉本	佐藤	本間	鶴間	足立	北風	北風	佐藤	森田	荒田	秋田	正田	上田	齋藤	佐藤	伊藤	真田	日田	大瀧	足立	平井	村井	金丸	保丸	五十	村山	蓮池	阿部	小北	佐藤	加藤	齋藤
晋司	西塔	工藤	五十	川合	大川	石井	遠藤	樋口	中嶋	佐藤	大藤	佐藤	佐藤	昭63(九五七)	土田	後藤	藤田	大田	大田	長澤	菅澤	岡部	本間	佐藤	森田	荒田	秋田	正田	上田	齋藤	佐藤	伊藤	真田	日田	大瀧	足立	平井	村井	金丸	保丸	五十	村山	蓮池	阿部	小北	佐藤	加藤	齋藤					
藤野	佐藤	西藤	五十	川合	大川	石井	遠藤	樋口	中嶋	佐藤	大藤	佐藤	佐藤	昭63(九五七)	土田	後藤	藤田	大田	大田	長澤	菅澤	岡部	本間	佐藤	森田	荒田	秋田	正田	上田	齋藤	佐藤	伊藤	真田	日田	大瀧	足立	平井	村井	金丸	保丸	五十	村山	蓮池	阿部	小北	佐藤	加藤	齋藤					
三浦	本間	柏野	半谷	平野	長野	野尻	小野	鈴木	片山	平成8(二五五)	佐藤	菅原	佐藤	平成14(一九九)	鶴巻	鈴木	庄司	水野	鶴巻	平成13(二〇八)	石橋	久下	梅津	永森	平成5(二〇二)	富田	深澤	佐藤	伊藤	真田	日田	大瀧	足立	平井	村井	金丸	保丸	五十	村山	蓮池	阿部	小北	佐藤	加藤	齋藤								
佐藤	加藤	後藤	森田	池田	鏡山	丸山	森田	加藤	平成15(二〇三)	赤松	佐藤	五十	手塚	平成14(一九九)	鶴巻	鈴木	庄司	水野	鶴巻	平成13(二〇八)	石橋	久下	梅津	永森	平成5(二〇二)	富田	深澤	佐藤	伊藤	真田	日田	大瀧	足立	平井	村井	金丸	保丸	五十	村山	蓮池	阿部	小北	佐藤	加藤	齋藤								
三浦	佐藤	鈴木	平成23(二八八)	渡部	本間	松浦	平成22(二七〇)	杉山	須藤	城野	佐藤	佐藤	手塚	平成14(一九九)	鶴巻	鈴木	庄司	水野	鶴巻	平成13(二〇八)	石橋	久下	梅津	永森	平成5(二〇二)	富田	深澤	佐藤	伊藤	真田	日田	大瀧	足立	平井	村井	金丸	保丸	五十	村山	蓮池	阿部	小北	佐藤	加藤	齋藤								
足田	鈴木	加藤	富野	安野	池田	令(三二八)	草野	遠藤	佐藤	令(二七〇)	小曾	阿部	吉田	平成31(二六六)	石川	加藤	薄衣	遠藤	平成30(二五五)	渡部	水野	佐藤	守岡	城野	平成19(二四四)	加藤	上野	須藤	小田	伊藤	佐藤	平成18(二三三)	黒澤	須藤	平成17(二二二)	富田	佐藤	田村	赤松	板垣	平成16(二二二)	平成10(二〇五)	大瀧										
夏海	菜緒	拓海	彩峰	令(二二九)	池田	令(二二八)	草野	遠藤	佐藤	令(二七〇)	小曾	阿部	吉田	平成31(二六六)	石川	加藤	薄衣	遠藤	平成30(二五五)	渡部	水野	佐藤	守岡	城野	平成19(二四四)	加藤	上野	須藤	小田	伊藤	佐藤	平成18(二三三)	黒澤	須藤	平成17(二二二)	富田	佐藤	田村	赤松	板垣	平成16(二二二)	平成10(二〇五)	大瀧										

スマホ・パソコン・各アプリより
 どこでも維持会費の納入ができるようになりました。

ご寄付、維持会費の納入ありがとうございました。



高 鶴岡南 鶴岡工業

VS
第68回 野球 鶴岡ドリームスタジアム
第47回 サッカー 小真木原陸上競技場

定期戦

令和5年6月8日



定期戦結果

【野球】鶴南 3 - 10 鶴工
【サッカー】鶴南 4 - 0 鶴工
【職員】鶴南 1 - 1 鶴工

通算成績

【野球】25勝 37敗 6分け
【サッカー】20勝 27敗

編集委員

委員長 菅原ゆり
委員 佐藤 守
高樹陽子
石塚俊朗
須田まき
北風秀明
佐藤英成
本間康弘

母校の歴史に疎いのですが、私の母が在籍した時代は、南校舎と北校舎に分かれ、ともに鶴岡高等学校生として卒業したと聞いていました。少子化など様々な要因があるとはいうものの、歴史はめぐるのか、南と北がひとつになり、新設致道館高校が輝かしい未来を育む場となることを願います。会員の皆様の母校への思い、どうぞこの機会にお寄せください。

非常に短い期間の依頼にもかかわらず今号にご寄稿くださいました皆様には、心から感謝申し上げます。また今春卒業生は高校生活のほとんどをコロナ禍で過ごしながら、学業・部活動ともに優秀な成績を修められましたこと、頭の下がる思いです。

編集後記

同窓会だよりが時季外れに届いたので、「あれえっ」と首をかしげられた方も多かったのではないのでしょうか？

ご承知のとおり、山形県高等学校整備再編計画により、わが鶴岡南高等学校は135年の歴史に幕を閉じ、来年4月から中高一貫校・山形県立致道館中学校・高等学校として、新たなスタートラインに立つこととなりました。これに伴い、鶴岡同窓会も閉会、鶴岡北高等学校卒業生を母体とする如松同窓会と統合し、致道館高等学校同窓会が発足する予定です。

鶴岡同窓会として最後の同窓会だよりをどんな内容にするか、編集委員会でこれまで様々な検討を重ねてきました。できるだけ多くの同窓生が参加するものにしたという結論に達し、会員の寄稿による閉会記念号を企画することとなりました。今号はそのお知らせと前号以降の学校の様子を総括する内容となっております。